



さくら

〈 笑顔輝く宮床中 〉 〈 風格のある宮床中 〉



〔校木:高野槇〕

【教育目標】
 豊かな心もち
 自ら学び共に高め合う
 生徒の育成

【校訓】
 自立・共励・躍進

目を輝かせて、はつらつと活動！一生懸命に努力する生徒の姿に『感動の連続』だった2学期！！

更なる前進に向けて…“石切工(いしきりこう)”に学ぶ。

先日からの積雪と朝晩の厳しい冷え込みは、本格的な冬の訪れを感じさせます。コロナ禍の感染予防対策はもうしばらく継続が必要ですが、校内にあふれる生徒の笑顔や元気なあいさつの声は、生徒一人一人の更なる活躍と宮床中の新たな一步を期待させてくれます。

本日、2学期の終業式を体育館で実施しました。全校生徒が体育館で一堂に会した行事は、約2年ぶりのことです。マスクの奥の表情は見えませんが、それぞれの瞳は力強く輝いていました。

8月26日の2学期始業式から、早4か月が経過しました。私は、2学期の始業式で、「バスケットボール女子日本代表」を見事銀メダルに導いたトム・ホーバス監督の『「スーパースターはいないが、スーパーチームです」』という言葉を紹介しました。皆さん、覚えていますか。その中で、皆さん一人一人が努力を継続し、仲間と切磋琢磨し合っていくことで、この宮床中学校を『笑顔輝くスーパーチーム』へと高めてほしいと話しました。1年で最も長い、この2学期、土日を含めて120日間、どれだけの努力を重ね、仲間と協力し、互いに高め合うことができたでしょうか。

この4か月間は、「芸術の秋」「スポーツの秋」にふさわしい学校行事が続きました。3年生が底力を見せ、「頼もしい後ろ姿」で後輩たちをリードしてくれた『駅伝大会』…。2年生主体の新チームとなり、素晴らしい成果を収めた『新人大会』…。仲間と心を合わせ、美しいハーモニーを創り上げた『合唱コンクール』…。学校を離れ、「本物」に出会う体験を通して見聞を広げた『山形・岩手方面への校外学習』や『北関東への修学旅行』…。皆さんが目をは輝かせて、はつらつと活動し、一生懸命努力する姿は、まさに『感動の連続』であり、学級、学年、そして学校を、大いに盛り上げてくれました。校長として、皆さんの活躍に、心から感謝しています。一方で、この2学期を通して「できなかったこと」、あるいは「失敗したこと」もあったことでしょう。『反省のないところに、進歩はない』とも言われます。自分自身を振り返り、謙虚に反省をし、そして、新たな決意を持つことを大切にしてください。

さて今回も、お話を一つ紹介します。皆さんは、“石切工(いしきりこう)”という仕事を知っていますか。大きな建物の土台や壁に、石が使われることがあります。これを石材といいます。山にある大きな岩のかたまりから、石材を切り出すのが“石切工”で、ハンマーで岩を何回もたたいて岩を切り出す大変な仕事です。

あるプロスポーツチームの、世界的に有名なコーチが、頑張ってもなかなか結果を出せない選手に、“石切工”の話をしています。こんなに練習したのにうまくいかないなんて、もう無理だと思ったときに、私は“石切工”の現場を見に行きました。“石切工”は、何回も何回も岩をたたいている。100回たたいても、小さなひびきさえでやしない。そんな時は、「もう、やっても無駄だ」「これじゃ救われない」と思うのが当然だ。ところが、岩が割れる瞬間は、何の前触れもなく突然やってくる。そう、それは101回目に来るかもしれないのだ。そして、それは、最後にたたいた1打によって割れたのではない。その前にたたいた100回があったからこそ、岩が割れたのだ。

皆さんも、一生懸命やっても、なかなか成績が上がらなかつたり、何度も練習しているのにうまくいかなかつたりして、「才能がない」とか、「自分はだめだ」と落ち込んだりしたことはないでしょうか。そんな時は、本当に苦しいもので、あきらめなくなる気持ちもよく分かります。でも、それであきらめてはいけないということ。この話は教えてくれます。何度も練習して、できるようになる時は、ある日突然やってきます。もしかしら、あと1回の練習で、達成できるのかもしれないのです。繰り返している時には、無駄に思える努力や練習でも、いつか必ず実を結ぶ時がきます。101回目のハンマーの一撃は、次の一撃かもしれないのです。

令和3年度 第2学期終業式
石切工(いしきりこう)の仕事



あるプロスポーツコーチの話



今日が2021年、宮床中学校の締めくくりに日…。明日から18日間の「冬休み」を迎えます。今年、自分の目標がなかなか達成できなかった人も、近い将来、大きな花が咲くことを信じて、あきらめずに努力や練習を積み重ねていきましょう。

事件・事故に遭うことのないように、そして、皆さん一人一人が希望を胸に、すがすがしい気持ちで新年のスタートが切れるように、期待と願いを込めて式辞といたします。

〈第2学期終業式 校長式辞〉



〈校長式辞でのスライド映像〉

12/23 約2年ぶりに体育館に全校生徒が一堂に会した「第2学期終業式」



2学期終業式での代表生徒発表

2学期の活動の振り返りや新年の目標について、約400人を前に堂々と発表しました。



1年生代表： (1-2), 2年生代表： (2-3)
3年生代表： (3-3), 生徒会代表： (2-1)

〈受賞の記録〉

- 〔吹奏楽部〕12/18アンサンブルコンテスト多賀城地区大会（七ヶ浜国際村ホール）
 - ・管打楽器7重奏：銀賞

・金管8重奏：銀賞

・打楽器5重奏：銀賞

〈お知らせ〉

- 本日の第2学期終業式をもって、令和3年の授業が終了し、明日から1/10(月・祝)まで18日間の冬季休業となります。第3学期始業式は、年明けの1/11(火)です。本年の本校教育活動に対する保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。令和4年も、どうぞよろしくお願いいたします。
- 冬季休業中に、生徒本人、またはご家族が体調不良等で病院を受診し、PCR検査を受けた場合には、速やかに宮床中学校へ電話連絡をお願いいたします。なお、検査結果判明時も同様に、学校への速やかな連絡をお願いいたします。
- 年末年始の令和3年12月29日(水)～令和4年1月3日(月)の期間は、学校閉庁日となります。緊急の場合は、宮床中学校の緊急連絡用携帯電話にご連絡ください。教頭(永浦)が対応いたします。

12/29(水)～1/3(月)：宮床中学校(携帯)080-7476-6431〔教頭対応〕

〔宮床中学校〕〒981-3624 黒川郡大和町宮床字四辻13番地の7

Tel:022-346-2006・022-347-8151 Fax:022-347-8152

「宮床中だより」は学校HPにも掲載しています。<https://www.taiwa-tk.ed.jp/miyatoko-j/>〈文責：教頭〉

大和町「地域未来塾事業」放課後自習教室

真剣な学びに熱心なご指導！

本校では、放課後約1時間、11/9からこれまで計10回、3年生有志を対象に「放課後自習教室」を実施しています。大和町のご支援で出羽由美子コーディネーターと学び支援員の方々(伊達尚子さん・中村明子さん・浦山利博さん・佐藤美紀子さん)に、学習支援をしていただいています。生徒が納得のいくまで、根気強く熱心にご指導いただき感謝申し上げます。1・2月も実施予定です。

